

【件名】	野川公園自然観察園木道改修工事（6）	【事務所名】	西部公園緑地事務所	
【工事場所】	東京都小金井市東町一丁目地内	【受注者名】	天龍造園建設株式会社 東京支店	
【工期】	令和6年8月30日から令和7年3月14日	【主たる技術者名】	監理技術者：小林天竜、現場代理人：上原陸	

【工事概要】

本工事は野川公園自然観察園内にある既存木道の老朽化に伴い既存木道の部材（根太・床材）の撤去及び新設を行うものである。木製の根太を鋼材に交換し、床材を高温処理を行った高耐久性の木材に交換した。

（数量）木道A：239.9m、木道B1：48.9m、  
木道B2：17.7m、木道スロープ1：1基

【表彰理由】（※発注者側評価）

受注者は自然観察園の安全管理に係る関係者と綿密な調整を図り、希少植物の植生場所の確認及び施工中の進入禁止の徹底、作業中の適切な養生やソーラーパネル式発電機の活用等、自然環境の保全に配慮した施工に努めた。

また有識者による勉強会を開催するなど、工事を円滑に進めるために積極的に関係者とコミュニケーションを図り、現場施工期間を短縮して利用者のために早期開放を実現した。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

現場周辺の自然環境を損なわないために施工方法・使用機材の調整等の環境対策を綿密に打合せ、また季節の植物を来園者が観賞できる規制の仕方や工程管理を意識し施工しました。早期の木道の部分開放（約60%）と、工期内に検査を実施し早期の全面開放を実現しました。

◇ 特に工夫した点

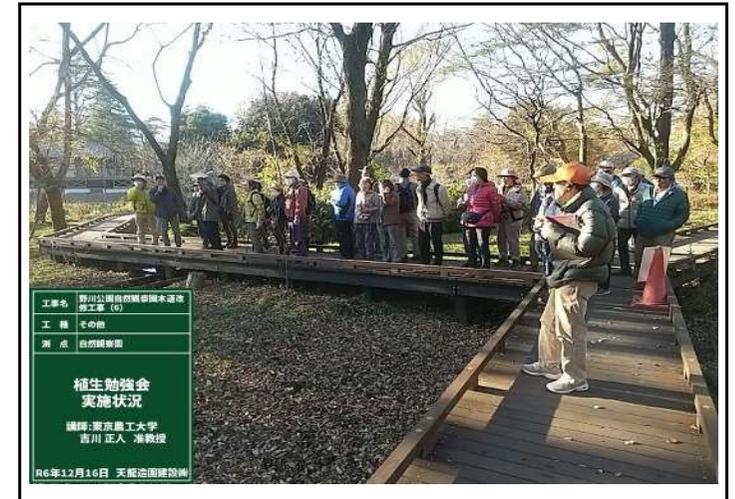
自然観察園内の植生勉強会（公園管理者、地域の方を含む参加者33名）を開催し、東京農工大学の准教授による講義のほか、施工業者としての植生への配慮・対策の考えを伝える場としました。意見交換のしやすい関係を築き、スムーズな施工に繋がりました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

施工中、完成を楽しみにされている方の言葉を直接受け取ることがありました。早期に完成でき、来園者及び公園管理者の期待に応えられた実感があつた事や、木道の利用を開始した瞬間の達成感はとてもやりがいのあるものでした。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設工事のようなものづくりの仕事において、完成の先の目的は「利用者にとってよいものをつくること」だと思います。それを達成するには工事の過程における関係者（お客様・管理者・利用者）との関係も大事です。社会での仕事はすべて地域貢献に繋がるので、その意識が仕事のレベルや自分のスキルを上げてくれると思います。



東京農工大学の准教授を招いた植生勉強会の様子